

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApag>

facebook



vol 450

May 2025



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~4
CAPP&INSTRUCTOR STATION	5~7
JAHA STATION	8~11
News&Information	12

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



中部日本地区 副代表ディレクター
浅井 亮太

「動物と人がともに歩む幸せな社会の実現 ～アニマルセラピーを通じたJAHAの社会貢献から学んだこと～」

若葉が目眩しい季節となりました。皆様の生活が、実り多きものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

JAHAが目指す病院作りの上で認定病院制度3つの柱 ホワイット認定・学術認定・社会貢献認定がございます。今回その中の1つ、社会貢献認定に着目しました。

私は地元愛知で、『動物の命を助けることが私の使命。動物が救われることで、その家族が救われる。』

と一心の思いで我武者羅に突き進んで、ここまでできました。時間に余裕が生まれ立ち止まった時に、自分の心の隙間から少し冷たい風が吹いていることに気づきました。

その原因を自問自答した結果、動物に関わった『人』にフォーカスした心理的療法、アニマルセラピーに目を向けていなかったことが原因の一つとして考えられました。

社会貢献活動を行う上での心構えとして、『常に謙虚な姿勢で学び続けること、そして社会との連携を大切にすることが重要だということ。決して簡単なものではなく一人ひとりの小さな行動が、社会を大きく変える力となること。私たち自身も成長し相手に無償の愛を与えることで、より豊かな人生を送ることが出来ること。』を忘れていたのです。

アニマルセラピーとは？

具体的には、以下のような効果が報告されています。

【心理的效果】

○ストレス軽減：動物と触れ合うことで、幸せホルモンと呼ばれるオキシトシンの分泌が促され、ストレスが軽減し、「リラックス効果」が得られます。

○情緒安定効果：動物の温もりや愛らしい仕草に触れることで、心が安らぎ、情緒が安定します。

○抑うつ症状の改善：動物との触れ合いは、孤独感や不安感を和らげ、抑うつ症状の改善に役立つことがあります。

○意欲向上効果：動物の世話をしたり、一緒に遊んだりすることで、責任感や達成感が生まれ、意欲向上につながります。

○コミュニケーション促進効果：動物との触れ合いを通して、会話が生まれたり、笑顔が増えたりすることで、コミュニケーションが活発になります。

【身体的効果】

○血圧・脈拍の安定：動物と触れ合うことで、血圧や脈拍が

安定し、心身のリラックスにつながります。

○運動機能の維持・向上：動物の散歩や世話をすることで、適度な運動になり、運動機能の維持・向上に役立ちます。

○痛みの緩和：動物との触れ合いが、痛みの感覚を和らげる効果があるという報告もあります。

当院スタッフが以前参加した高齢者施設での活動では、『施設利用者の方と「次回もまた来ますね」とお話ししても、次の機会にはもうお会いできないこともあり、まさに「一期一会」の経験でした。わんちゃんを抱っこしながら「こんなに優しくしてもらったことはない」と涙ながらにお話ししてくださったお婆ちゃんの姿が今でも目に焼きついており、やはり動物が人間に与える癒しのパワーはすごいなと改めて感じました。』と話してくれました。

施設にスタッフ自ら足を運び、現実を目の当たりにし、動物病院で働く使命感が強くなったと感じます。

その経験は今後の彼女の人生においても忘れることが出来ない貴重な経験だと思います。

今後1人でも多くスタッフにこの経験してもらうことで、ボランティア精神(自発的で創造性豊かに、見返りを求めず社会に貢献する精神)を養ってほしいと考えています。

そういった病院が増えることで、この活動が全国展開され社会に認知されます。

そこで我々が目指す本当の意味の『人間と動物の幸せな共生社会』の実現だと思うのです。社会貢献認定される動物病院がひとつでも多くなることを推進したいです。

当院は、企業理念である『社会への貢献』を深く認識し、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献していくことを決意し、スタッフ一人ひとりが社会貢献の意識を持ち、地域社会との連携を強化しながら、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

単に病を治すだけでなく、動物と人との絆を通じて、社会全体の癒しと成長をもたらす——それが私たちの描く未来です。

獣医療は、動物の命を救うだけではありません。その先にある、人と動物が共に生きる幸せな社会の実現——それが、私たちの真の使命だと考えています。



動物病院が伝えるホスピタリティ

動物病院接遇コンサルタント
坂上 緑

「新人研修」とはお辞儀の練習をするものというイメージをお持ちの方がいらっしゃるかもしれませんが、新人に最優先で伝えるべきことは「組織とは？」だと思います。私は30代の頃、新人研修の派遣講師をしていました。その頃、仕事はたくさんありました。一社で何百人も新人がいる企業もあり、フルで借り切ったホテルの複数の宴会場で80人ほどを2泊3日とかで受け持ちました。単独の企業でも3〜40人ほどの新人がいたし、自治体が主催する中小企業の集合研修もありました。とにかく春は怒涛の新人研修期間だったのです。



新人に最優先で伝える事

動物病院で仕事を始めた頃、「私は新人研修というものを受けたことがありません」という人がたくさんいらしたのはとても驚きました。春は最も忙しいシーズンだからなのでしょう。しかしそれで、「もしもし」と電話に出て来られたり、ビーチに行くような服装でセミナーに来る方がいらっしゃる理由がわかりました。20年ほど前のことで、懐かしいです。

おそらく40代以上の方々は「新人研修」を受けたことがなさそうに思いますが、その世代の先生方が経営者となり、自分が雇用したスタッフには新人研修を受けさせたいという気持ちもあったのか、私個人にオファーがいただけるようになりました。ただ新人の数が少ないと、病院単独で実施するのは難しいです。だからJAHA様のように、複数の病院の新人の集合研修を実施されるのは素晴らしい流れだと思います。近年はオンラインセミナーがスタンダードになりました。確かに、対面の方が、はるかに効果が高いのは事実ですが、病院の規模や地域等の条件に関わらず、多くの新人スタッフに情報を届けられれば、業界全体のスキルアップが進むと思います。同時に新人研修経験無しの中堅層以上の方々はマネジメントセミナーが提供されるようになり、少しずつ、業界全体で人材教育のバランスが取れて来たように感じています。

飼主様との対応場面を設定して、ペアでロールプレイをするのが私の研修です。そうすることで、新人は練習の仕方がわかります。「私がいなくても練習できる人達」にしておけば、上手くなるのです。もちろん当日は初めての事ばかりで、脳はフル回転、かなりエネルギーを使ってクタクタになるのですが、私の受講生は長時間であってもぼんやりしたり、う

とうとするような人は見受けられません。「この研修と学生時代に受けた教育との決定的な違いは何ですか？」と開始1時間後にグループでフリートークをさせるからです。もちろん「学費を払っているのと、お給料をもらっている違い」という答えはすぐに出てきますが、そこから「その通りですね。で、今、お給料をもらって先輩達は病院で働いていますが、皆さんは働いている？」と展開し「講義を受けることが今日の仕事」「今日学んだ事を現場に反映するのが病院への責任」「坂上に支払う講義料、交通費、ホテル代などは病院のコスト」と解説します。しっかりうなずきながら聞いてくれます。「まだ、みんなは一円も払ってないのにねえ、なぜ経費を払ってもらえるのですか？」と問えば「経営者の自分達への投資」「自分にその価値があるから投資してもらえる」と理解を深める答えを導き出せます。そうすると本当にそこから数時間、集中力は落ちません。休憩時間になっても、自らレッスンを継続する人達も出てきます。楽しそうにしています。私の大好きな景色です。

コストとか、投資とかのキーワードは新人研修でインプットして、組織全体の中で自分を俯瞰できるようにするのが一番効果的だと私は思います。始めにどんな思考を持って仕事に臨むかで、そこから毎日見える風景の解釈が違うからです。ある程度時間が経ち、自己解釈で言語化してしまった後は自然と仕事のしんどさがクローズアップされてしまいます。春が難しければ、フィラリアの時期が終わってからでもいいと思います。新人研修がたくさん実施されますように。新人研修を受けた先輩は、後輩指導も上手ですね。情報を共有させれば人間関係もスムーズにいくと思います。

こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



こいぬこねこ教育アドバイザー実践コースに参加して

千音寺ペットクリニック 河合 綾夏

私はもともと全く動物関係、医療とは無関係の職場で7年間働いていました。もともと生まれた時から動物がいる環境で育ったため、小さい頃から動物が大好きでした。進学の際に動物関係に進むか迷ったのですが、とくに強い思いがあったわけでもなく、当時興味のあったイベント制作関係の学校へ進学し、そのまま芸能関係の仕事に就職しました。キッカケは3年前。16年間一緒に過ごした愛犬との別れでした。私が10歳の時に迎えた黒柴の男の子で、とても温厚で人が大好きな子でした。大きな病気もなく旅立ったのですが、知識があればもう少し何かサポート出来たのではないかとすごく後悔しました。「私はやっぱり動物が好き！動物や飼い主様のサポートをしたい！」と思い、転職を決意しケアスタッフとして働き始めました。

実際働き始めると大変なことも多く、経験のない私には難しいのではないかと自信がどんどんなくなってしまっていた時に「受講してみないか」と教育アドバイザーの話を聞きました。

最初は「私なんか出来るのか」と不安で参加するか迷っていたのですが、今では勇気を出して一歩踏み出して本当に良かったと思っています。講座を受けるたびに、0だった私の知識が1つずつ増えていき受講することが私にとって楽しい時間になりました。そして、病院スタッフにも協力してもらい、日常の診察で子犬が来院した際はアウトプットできる場を設けてもらい少しずつ自信をつけることが出来ました。そして何より、受講した先で同じ目標を持つ心強い仲間と出会えたことが本当に嬉しく私の財産です。同期のいない私には、ここで出会えたみんなが大切な同期です。それぞれの場所でみんなが頑張っているから私も負けずに頑張ろうと思えます！ありがとうございます！

私の夢は、現在休止中の「しつけ教室」を自らのやり方でリニューアルして再開することです！そして、人もペットも笑顔が絶えない、そんな世の中出来るように人と動物を繋ぐ架け橋になりたいと思います！



海外文献要訳

Behavioral and Physiological Responses of Therapy Dogs to Animal-Assisted Treatment in an Inpatient Stroke Rehabilitation

Hao-Yu Shih, François Martin, Debra Ness, Whitney Romine, Taylor L. Peck, Tricia Turpin, Rachael Horoschak, Cindy Steeby, Hannah Phillips, Mary Claypool, Amanda Theuer, Grace M. Herbeck, Jasmine Sexton, Erin Pittman, Erica Bellamkonda, Nikita Maria Ligutam Mohabbat, Sandra A. Lyn, Brent A. Bauer and Arya B. Mohabbat
Animals 15: 121 (2025)

入院患者の脳卒中リハビリテーションにおける動物介在療法がセラピー犬の行動および生理学的反応に与える影響

犬(Canis familiaris)は、人との社会的交流において優れた能力を持ち、さまざまな環境によく適応できるため、動物介在療法(AAT: Animal-Assisted Therapy)で広く活用されてきました。AATは、患者の治療効果や健康促進を目的とした治療ですが、これまでの研究は、主に「人への効果」に焦点を当てており、AAT活動に参加する犬の福祉への影響は十分に理解されていませんでした。近年、AATが犬の福祉に与える影響への関心が高まっています。

本研究は、入院患者の脳卒中リハビリテーションプログラムに参加するセラピー犬の健康を調査した最初のランダム化比較試験(RCT: Randomized Controlled Trial)および前向き研究です。研究では、犬の福祉を多面的に評価するため、唾液オキシトシン、唾液コルチゾール、心拍数(HR)、心拍変動(HRV)、鼓膜温度(TMT)などの生理学的パラメーターと、犬の行動評価スケール(FAS)を使用しました。このスケールは、犬の行動とボディランゲージを観察し、犬のストレスレベルを測定するための臨床的および科学的ツールです。本研究の仮説は、AATへの参加が犬の健康に悪影響を与えないことでした。

研究には、メイヨークリニックのCaring Canine Programに登録され、セラピー犬協会またはPet Partnersに認定された14組のセラピー犬とハンドラーのペアが参加しました。ペアはボランティア活動に定期的に従事しており、今回の研究にも自発的に参加しました。犬たちは、患者と散歩やボール遊びをしたり、撫でられたりブラッシングされるなどの活動を通じて、脳卒中リハビリテーションに積極的に関与しました。

被験者は50人の患者で、標準的な脳卒中リハビリテーションのみの対照グループ(25人)とAATを併用する実験グループ(25人)に無作為に割り当てられました。すべてのAATセッションは、患者、セラピー犬、セラピー犬のハンドラー、セラピストが連携するダイヤモンドモデルで実施されました。犬のスト

レス反応を測定するため、患者との交流前後に、唾液コルチゾールとオキシトシン濃度、HR、HRV、TMT、FASスケールでの行動評価を記録しました。

結果は、AATセッション後にセラピー犬のHRが有意に減少し、HRVの増加を示しました。これは、副交感神経優位によるリラックス状態の増加を示唆しています。一方、右耳のTMTはセッション後に有意に上昇しましたが、唾液コルチゾールまたはオキシトシンのレベル、およびストレス関連行動評価には有意差は認められませんでした。HRとHRVの変化は犬がAATセッション後にリラックスしていたことを示唆しています。コルチゾールとオキシトシンのレベルの安定性も、セッション中のストレスの増加がなかったことを支持しています。これらの結果は、セラピー犬の健康に関する現在のチームの以前の研究を裏付けています。TMTの上昇は、一時的な興奮状態の可能性がありますが、全体的な福祉指標から判断すると、AAT活動への参加が犬の福祉に悪影響を与えたとは言えません。

生理学的および行動データから、セラピー犬はAATセッション後も健康状態が維持され、むしろリラックスしていた可能性が示唆されました。本研究は、入院患者の脳卒中リハビリテーションプログラムにセラピー犬を慎重に組み込むことで、犬のストレスを最小限に抑えられることを明らかにしました。ただし、各訪問が依然として潜在的なストレス源となる可能性があることには留意する必要があります。

本研究は、複数の非侵襲性生理学的指標と行動観察を用いて、入院患者のリハビリテーションプログラムにおけるセラピー犬の福祉を検証した初のRCTです。病院という実際の臨床環境で行われたため、他の臨床環境にも応用可能です。これらの知見は、今後AATプログラムにセラピー犬を導入する際の安全性と福祉への配慮において、重要な指針となるでしょう。

2025年 2月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加	見学	犬	猫	他
北海道	養生の杜カミイ【保久留美子・本田英隆(V)】	19	1	1	4		4		
青森県	鶴ヶ丘苑【村田道子・保木明彦(V)】	27	1	1	5		3		
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	3	2		7		9		
東京都	トラストガーデン杉並駅前【滝村昌世】	18			9		7		
	サンピナス立川【浜村富美子・岩崎脩(V)・野坂昭文(V)】	7			6	1	5		
	麻布慶福苑【徳永治子・齋藤麻実子(V)】	13			11	2	10		
	デイサービスD Festa立川【中島千恵・熊本さかえ(V)】	10	1	1	4		5		
	デイホーム等々力【湯澤瑞子】	5			7		6		
	ツクイサンシャイン成城【石森菊江】	12			8	1	8		
	ピノフローラ【清水弥生・竹中晶子(VN)・海老澤崇史(V)】	13		1	11		7		
	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	17	1		8		6		
	いさぎブリーダー番町【飯田良枝・諸見里喜久恵・柴内晶子(V)】	20			10		7		
	声花ホーム【金澤順子】	25			8	3	8		
	くめがわ翔裕園【永島憲子・島中道昭(V)】	25			10	1	7		
神奈川県	旭ホーム【水谷渉(V)】	2	3	1	1	1	2	1	2
	横浜さくら苑【佐藤恭子】	9	1		5		4	1	
	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	20	2	2	2		1	1	3
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	22			1		1		
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	27	2	2	2		1	1	4
愛知県	ナーシングホーム形原【太田恵里・大竹克己(V)】	22			7		5		
京都府	Casa京都西野山【新山則子(V)】	19	2	2	6	2	9		
	アザレア舞鶴【安積初江(V)】	27	1		6		4		
大阪府	養さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	16		1	6	5	5		
福岡県	宗像アコール【吉田眞理子・永田朋子(V)】	12	1		2		2		
合 計		24回	18	12	146	16	126	4	9

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
北海道	医療法人 稲生会【保久留美子・本田英隆(V)】	14			4	1	4		
東京都	島田療育センター【湯本悦子・石川幸子(V)】	19	1		9	1	7		
	こすもす生活園【森本祐子】	26			6	1	4		
	島田療育センター(P)【畔柳郁子】	5			2		1		
神奈川県	湘南鬼瓦【水谷渉(V)】	13	2	2	2		1	1	3
富山県	COCORO【吉田理米子(V)】	4	1		10		8		
岡山県	県立津島児童学院【天野達也(V)・大石太郎(V)】	18	2	3	5		5	1	
合 計		7回	6	5	38	3	30	2	3

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加	見学	犬	猫	他
千葉県	おたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	9	3	1	7	2	5		
	南流山ふれあい教室【市川美雪・黒木慎介(V)】	22		1	6		3		
愛知県	名古屋市中中央児童相談所【廣瀬佳代(V)】	7			6		4		
兵庫県	こうべ動物共生センター【熊井恵子・村田香織(V)】	25		1	2	1	3		
		9		1	5	1	6		
宮崎県	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	3			2		6		
	宮崎市立宮崎南小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	21			3		5		
		27			3		6		
		28			3		5		
合 計		9回	3	4	37	4	43	0	

医療施設等

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加	見学	犬	猫	他
埼玉県	埼玉県立精神医療センター【中村悟(V)】	21	2	3	7		9		
千葉県	千葉県がんセンター【三村竜明(V)】	12	3		5	1	3	2	
	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	19	1		4	1	4		
	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	26	1		2	1	3		
東京都	東京衛生外「A」ズナ病院【竹中晶子(VN)】	7		1	2		2	1	
		14		1	2		2	1	
		21		1	2		2	1	
		28		1	2		2	1	
	聖路加国際病院【柴内晶子(V)】	27	1	1	4		4		
	長谷川病院【浅原久子】	27			3		3		
神奈川県	横浜市立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	19	1		3	3			
静岡県	天竜病院【大井由紀子・館澤仁(V)】	10			6		6		
愛知県	岡崎市市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	26			8	5	5		
	愛知県医療療育総合センター【岡村由佳理・夏目里枝子(V)】	18			4		3		
	あいち小児保健医療総合センター【廣瀬佳代(V)】	12			2		2		
兵庫県	神戸アドベンチスト病院ホスピス(P)【石井孝子】	12			1		1		
		26			1		1		
	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	12		2	2		4		
合 計		18回	9	10	60	8	59	6	0

	活動回数	獣医師	動物 看護師	ボランティア		犬	猫	他
				参加	見学			
2月合計	58回	36	31	281	31	258	12	12

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

3月の寄付と募金のご報告

■CAPP活動への募金・寄付金

CAPP活動への募金や寄付をしてくださった皆様、心より感謝申し上げます。今年も沢山の温かいご支援をいただきました。来年には40周年を迎えます。これからも、正会員の皆様のご支援と協力が必要です。引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

都道府県	病院名・施設名	金 額
長野県	あおぞら動物病院	3,214
東京都	昭島動物病院	10,670
静岡県	アサギ動物病院	10,774
埼玉県	アステール動物病院	6,218
京都府	アップフィールド動物病院	2,981
京都府	あづみ動物病院	9,574
神奈川県	アニマルライフサポート	15,347
宮崎県	綾部動物病院	1,918
大阪府	アロー動物病院	23,166
東京都	井荻アニマルメディカルセンター	8,332
山梨県	石和どうぶつ病院	3,840
栃木県	犬猫耳の病院	1,791
東京都	梅島動物病院	20,013
岐阜県	えさき動物病院	25,505
広島県	榎本動物病院	4,827

都道府県	病院名・施設名	金 額
東京都	大東学園どうぶつ病院	4,380
群馬県	大久保動物病院	25,562
千葉県	おおさき動物病院	20,400
千葉県	おたかの森動物病院	9,342
埼玉県	大洲動物病院	18,193
千葉県	おがわ動物病院	4,374
岐阜県	各務原動物病院	8,346
岐阜県	可児フレックス動物病院	26,157
埼玉県	川口動物医療センター	9,211
神奈川県	きこ動物病院	13,645
東京都	清澄白河アニマルクリニック	22,111
岡山県	倉敷動物医療センターアイビー動物クリニック	28,472
兵庫県	グラン動物病院	2,081
神奈川県	クレオ動物病院	2,672
東京都	クローバー動物病院	4,840

都道府県	病院名・施設名	金 額
岡山県	クロキ動物病院	8,623
神奈川県	こうめ動物病院	5,820
香川県	KOKOどうぶつ病院	7,176
滋賀県	こにし動物クリニック	10,964
愛媛県	さいき犬猫病院	3,703
新潟県	坂田動物病院	13,551
愛知県	さくら動物病院	16,377
長崎県	さわもと犬猫病院	181,634
静岡県	しかたに動物病院	8,268
静岡県	静岡焼津動物医療センター	8,100
山口県	シラナガ動物病院	3,874
兵庫県	清和動物病院	2,760
宮城県	仙台動物医療センター	2,864
大阪府	千里ニュータウン動物病院	4,743
福島県	そらいろ動物病院	3,604

募金箱		
都道府県	病院名・施設名	金額
福井県	大門動物病院	11,325
大阪府	ダクダ動物病院 関西医療センター	28,279
東京都	ダクダ動物病院 品川ウェルネスセンター	14,336
千葉県	ダクダ動物病院 リアニアニマルクリニック	2,710
熊本県	たくみ動物病院	9,270
新潟県	たけベッククリニック	2,962
高知県	ダック犬猫病院	28,715
神奈川県	茅ヶ崎動物病院	3,466
山梨県	千塚どうぶつ病院	3,000
大阪府	ツルノ獣医科病院	18,734
東京都	東京ウエスト動物病院併設眼科ケアセンター	12,148
愛知県	東郷がじゅまるの樹動物病院	9,045
埼玉県	トム動物病院	8,111
岡山県	トリゴエ動物病院	8,472
富山県	ドリトル動物病院	41,312
埼玉県	七里動物病院	3,217
奈良県	奈良動物医療センター	5,413
愛知県	(株)なりた犬猫病院	13,650
高知県	なんごくアニマルクリニック	30,019
愛媛県	にいはま動物病院	15,445
千葉県	西原動物病院	1,283

募金箱		
都道府県	病院名・施設名	金額
東京都	日本動物医療センター	14,839
栃木県	のざき動物病院	12,057
神奈川県	ハート動物病院	12,249
大阪府	バオ動物病院	4,759
神奈川県	馬場動物病院	2,322
千葉県	はやし動物病院	5,050
千葉県	東千葉動物医療センター	78,676
長崎県	ひなた動物病院	7,507
鹿児島県	ひら動物病院	26,908
東京都	ファミリー動物病院	696
東京都	フーレップ動物病院	48,413
大阪府	福井獣医科病院	36,329
埼玉県	フジタ動物病院	45,802
愛知県	ふるはし動物病院	39,657
大阪府	フレックス動物病院	33,530
愛知県	平成動物病院	3,393
埼玉県	ベテモ動物病院ララガーデン春日部	3,299
神奈川県	ベテモどうぶつ医療センター 相模原	17,965
北海道	ベテモどうぶつ医療センター札幌月寒	8,007
埼玉県	ベル動物病院	5,679
兵庫県	ベル動物病院	2,449

募金箱		
都道府県	病院名・施設名	金額
静岡県	保坂動物病院	8,427
京都府	ぼの動物クリニック	7,617
福岡県	前野動物ケアセンター	12,038
神奈川県	水谷動物病院	4,397
北海道	緑の森どうぶつ病院 旭神病院	15,000
大阪府	南大阪動物医療センター	1,258
東京都	みなみ野動物病院	6,155
兵庫県	ミネルバ動物病院	1,068
兵庫県	武庫川動物病院	5,821
兵庫県	ムコ動物病院	3,876
香川県	メリー犬ねこクリニック	1,907
福岡県	森どうぶつ病院	16,585
青森県	やすだ動物病院	5,934
栃木県	やの動物病院	21,130
富山県	吉田動物病院	2,728
京都府	淀動物病院	910
埼玉県	ライト動物病院	1,882
沖縄県	琉球動物医療センター	10,647
埼玉県	ロコ動物病院	19,636
和歌山県	和歌山動物病院	9,701

正会員病院からの寄付 ※五十音順	
動物病院名	募金額
アサギ動物病院	50,000
おおたかの森動物病院	658
さくら動物病院	15,000
グラン動物病院	2,919
クレオ動物病院	10,000
さくら動物病院	5,000
しかたに動物病院	1,732
そらいろ動物病院	1,396
ドリトル動物病院	10,000
のざき動物病院	7,943
バオ動物病院	5,241
ロコ動物病院	10,000
井荻アニマルメディカルセンター	1,668
各務原動物病院	1,000
犬猫耳の病院	10,000
水谷動物病院	6,000
西原動物病院	1,000
石和どうぶつ病院	5,000
前野動物ケアセンター	10,000
大門動物病院	18,675
大淵動物病院	10,000
東郷がじゅまるの樹動物病院	10,000
馬場動物病院	5,000
武庫川動物病院	4,179
匿名希望	3,000

個人・動物病院からの寄付	
井上 富美子 様	30,000

活動費を寄付して下さったチームリーダーの方々	
動物病院名	募金額
佐々木 拓也	49,000
竹中 晶子	10,000
吉田 理栄子	28,000
大門 由美子	25,000
甲斐原 徹	10,000
江口 富子	10,000
佐藤 亮	10,000
水谷 渉	67,000
中田 景子	10,000

企業・団体からの寄付	
東京青山ロータリークラブ	100,000
公益社団法人 アニマル・ドネーション	37,671
EMバレエクラス	15,000

ネット募金		
Yahooネット募金	3月分	43,735
SOFT BANKつながる募金	3月分	3,312

公益事業2へのご寄付	
満岡 利夫様	100,000

— 今月の表紙 —

「あなたのぬくもりが一番の薬」

写真提供: aya様



ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています

「人と動物の絆」をテーマに、ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています。お寄せいただける方はお写真と一緒に、お写真の提供者名(掲載するお名前)、お写真のタイトルをinfo@jaha.or.jpまでお送りください。どうぞよろしくお願いいたします。

※肖像権、著作権、動物の福祉に配慮した写真をお願いします。





東京青山ロータリークラブより感謝状をいただきました

2025年3月18日、ホテル雅叙園東京にて開催された東京青山ロータリークラブ「創立35周年記念式典・祝賀会」に、当協会より宗像会長と柴内相談役がご招待を受け、出席いたしました。

式典では、当協会が長年にわたり推進しているCAPP活動（人と動物のふれあい活動）への取り組みに対し、温かい感謝のお言葉を頂戴するとともに、公益社団法人日本動物病院協会に対する感謝状とご寄付（10万円）を賜りました。

このたびのご厚意に、心より御礼申し上げます。皆さまからのご支援を励みに、今後もCAPP活動のさらなる普及と、人と動物がより良い関係を築ける社会の実現に向け、努めてまいります。

JAHA動物看護教育支援校制度 参加校卒業式にて会長賞の授与

日本動物病院協会（JAHA）では、愛玩動物看護師養成を目指す学部・学科を有する学校法人に対して動物看護教育支援校制度として、教育支援を行っております。

3月の卒業式において、優秀な成績を納められた生徒に「JAHA会長賞」が授与されました。2024年度は、4校から推薦を受けた8名の方が受賞し、賞状と記念品が贈られました。

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。これからは専門職としての技術と理解をさらに深め、全国の動物病院で多くの命を支える存在となることでしょう。動物たちとそのご家族に寄り添い、その絆を守ることができるのは、皆さんの知識と温かい心です。皆さんの未来が希望に満ち、充実したものとなるよう、心よりお祈り申し上げます。

（写真：中央動物専門学校 池田明日香様、秋山新風様

名古屋ECO動物海洋専門学校 大岩ひなた様、清水小羽様）



麻布大学 OneマルシェにJAHAブース出展しました！

2025年3月29日（土）・30日（日）の2日間、麻布大学 OneマルシェにJAHAブースを出展しました。

今回のイベントテーマは「ヒト・イヌ・地域の一体化 ～"One" ひとつに～」

テーマのとおり、多くの方々とワンちゃんが来場し、地域が一体となって大いに盛り上がりました！

JAHAブースでは、愛犬の無料健康相談を実施し、会員病院・CAPP・ココアド・しつけインストラクター等ご紹介させていただきました。



今回、ご協力いただいた先生方：

宗像俊太郎先生・吉内龍策先生・水野浩茂先生・家入秀明先生・長谷往明先生・菊水健史先生

令和6年度 正会員新入会一覧

令和6年度に入会された正会員のご紹介です。
会員区分の変更や正会員交代の方も掲載しております。
45名のご入会、ありがとうございました!!

所在地	動物病院名	正会員名	
青森県青森市	成田動物病院	成田 美輝	正会員交代
岩手県奥州市	佐野いぬねこ病院	佐野 耕平	
宮城県仙台市	Dog & Cat Hospital GALFAR	小泉 信輝	
宮城県仙台市	エビス動物病院	山下 洋平	
宮城県塩釜市	ウイル動物病院 塩釜病院	近藤 慧	正会員交代
宮城県宮城県	ウイル動物病院 亘理病院	堀内 博史	正会員交代
秋田県秋田市	あきたこまつ動物病院	小松 亮	
茨城県土浦市	たのうえ動物病院	田上 宣文	
茨城県水戸市	動物病院ハートランド	川西 航太郎	
栃木県鹿沼市	しのはら動物病院	篠原 雄大	
埼玉県川口市	ビジョン動物愛護病院 川口院	中原 佳孝	
埼玉県久喜市	久喜夜間救急どうぶつ病院	清田 浩司	
埼玉県加須市	ルビー動物病院	中山 望	
千葉県千葉市	ぼんだ動物病院	張本 和貴	
千葉県市川市	行徳どうぶつ病院	名古 孟大	正会員交代
千葉県四街道市	福永動物病院	福永 男功人	
千葉県八街市	おがわ動物病院	小川 孝博	
千葉県市原市	姉ヶ崎どうぶつ病院	會田 香苗	正会員交代
東京都江戸川区	みやむら動物病院	宮村 卓馬	
東京都大田区	もりかわ動物病院	森川 伸也	
東京都目黒区	こひ動物病院	小日向 祐二	
東京都杉並区	井荻アニマルメディカルセンター	高橋 涉	
東京都練馬区	大泉学園どうぶつ病院	木村 あゆみ	正会員交代

所在地	動物病院名	正会員名	
東京都西多摩郡	ベテモ動物病院 日の出	安達 智統	
神奈川県横浜市	くりの木動物病院	松田 岳人	
神奈川県横須賀市	Kawabata 横須賀三浦どうぶつ医療センター	川畑 健	
神奈川県愛甲郡	あすなろ動物病院	小島 健太郎	
神奈川県藤沢市	鶴沼海岸どうぶつ病院	長谷川 剛弘	
神奈川県藤沢市	日本大学動物病院	枝村 一弥	
愛知県名古屋	ベテモどうぶつ医療センター名古屋	河村 竜太	学会会員からの区分変更
愛知県犬山市	犬山動物総合医療センター	太田 理造	正会員交代
三重県鈴鹿市	ユーカリ動物病院	伊藤 雄洋	
滋賀県草津市	草津犬猫病院	橋本 彦彦	個人獣医師会員からの区分変更
京都府京都市	オリーブ動物医療センター	福留 幸一	
京都府久世郡	Kyoto AR 動物高度医療センター	神志那 弘明	
北海道札幌市	アネス動物病院	石塚 友人	
大阪府大阪市	くわはら動物病院	桑原 岳	
大阪府大阪市	西長堀動物病院	三谷 秀和	
大阪府豊中市	ノア動物病院	山本 憲昭	
大阪府吹田市	ESSE 動物病院	福岡 康洋	
大阪府茨木市	春日丘動物病院	今西 修大	
大阪府寝屋川市	オレンジ動物病院	久保 吉明	
島根県出雲市	こうの動物病院	高野 重徳	
福岡県田川市	たがわ動物クリニック	大城 昇太郎	正会員交代
熊本県菊池郡	大津どうぶつ医療センター	藤本 晋輔	

正会員の皆さまへ 令和7年度 定時総会のお知らせです。

令和7年度の定時総会を6月19日（木曜日）に開催いたします。今年は、理事の改選や定款変更を議案として取り上げる予定ですので、例年よりも重要な議題が多くなっております。書面表決書は、5月15日以降に正会員の皆様へ往復はがきで発送いたします。

お手元に届きましたら、提出にご協力くださいますようお願い申し上げます。また、電子提供措置を取っているため、総会資料はJAHAのホームページ上で公開いたします。インターネットを通じて資料をご確認ください。

開催日：令和7年6月19日（木）

会 場：公益社団法人日本動物病院協会 事務局

会議録

令和7年度 年次大会 第1回実行委員会 会議録

日時:令和7年度3月7日(金)19:30-21:40

出席者(敬称略):

実行委員長:増山浩一

実行副委員長:大石太郎

実行委員:浅井亮太、家入秀明、寺島美穂、中村悟、中村喜雄、長谷往明、水越美奈、宮崎務

理事:会長 宗像俊太郎、副会長 市川陽一郎 担当理事 横山篤司

協議内容:

1. 年次大会2025 開催概要について

1)日時・会場:2025年11月26日(水)・27日(木)・会場:AP 東京八重洲

2)大会目的・位置づけ

3)大会テーマ

4)動員目標

5)プログラム大枠

6)参加費

2. 協賛募集について

3. 各プログラム枠 担当委員について

4. 今後のスケジュール予定

会議録

令和6年度 第3回CAPP委員会 会議録

日時:令和7年3月13日(月)20時00分-21時30分

方法:web会議 (Zoom使用)

出席者(敬称略):

理事:千葉陽子理事、吉田尚子理事

CAPP委員長:中村悟

CAPP委員:大林杏子、佐々木拓也、三宮裕子、中島千恵、新山亮、濱野佐代子

相談役:柴内裕子

事務局:山内和美

検討事項:

1)2025年次大会に向けて

2)CAPP活動休止中の施設・チームについて

3)活動の広報用素材の撮影について

4)ニュースレターでの各チーム紹介について

5)ポロシャツの胸ポケットの刺繍について

6)CAPP認定試験・東京以外の会場の実施頭数の規定について

報告事項:

1)チーム勉強会

2)付添犬 活動報告(2024年度~)

3)その他

・CAPP活動に毎年ご支援いただいている東京青山ロータリークラブの創立35周年記念式典(3月18日開催)に、宗像会長と柴内相談役へご招待をいただいている。

→記念式典の中で、感謝状と記念寄付としてCAPP活動へ10万円のご寄付をいただいた。

会議録

令和6年度 第2回ホスピタル委員会 会議録

日時:令和6年度3月18日(火)13:00-14:30

方法:オンライン開催(zoom)

出席者(敬称略):

委員長:村田元

委員:大石太郎、北尾貴史、杉崎勝樹、舘澤仁、増山浩一

理事:宗像俊太郎、上野弘道、水野浩茂

事務局:千葉治、伊藤啓美

内容:

1. JAHANA次大会2025実行委員会での協議内容報告(増山先生より)

2. JAHANA次大会2025 記念講演、ホスピタルプログラムについての協議

1)委員会としての中心テーマ

2)記念講演 講演者候補

3)ホスピタルプログラムの内容について

3. 動物病院講座について

会議録

令和6年度 第5回理事会 議事録

日時:令和7年3月27日(木)15:00-16:10

出席者(敬称略):

理事:宗像俊太郎、市川陽一郎、上野弘道、吉内龍策、水野浩茂、秋古秀保、菊水健史、

千葉陽子、横山篤司、吉田尚子

監事:秦東主、西村亮平

事務局:鎌田真弓、伊藤啓美、芝亜希子

決議事項:

第1号議案 令和7年度事業計画案

・原案を承認し、令和7年4月1日から施行することとした。

第2号議案 令和7年度予算案

・原案を承認し、令和7年4月1日から施行することとした。

第3号議案 定款の改定 理事の定数の変更について

・理事の定数の変更について原案を承認し、6月に開催される令和7年度定時総会の

議案にすることとした。

定款上の変更箇所 現行 第5章役員等(設置) 第25条 (1)理事 6名以上10名以内

改定案 第5章役員等(設置) 第25条 (1)理事 6名以上15名以内

第4号議案 獣医内科認定医・獣医外科認定医 認定規程の改訂について

・獣医内科認定医・獣医外科認定医の認定規程改訂について、原案を承認した。

第5号議案 株式会社SaLaDaの法人賛助会員への入会について

・株式会社SaLaDaの法人賛助会員入会について承認した。

協議事項:

第1号議案 ハワイ州と日本における動物検疫の簡素化について

ハワイ大学がんセンター 岡田悠偉人先生より本会に提案されているハワイ州と日本

における動物検疫の簡素化のためのプロジェクト(日本からハワイへ渡航する観光客が、ペットのハワイ入国および日本帰国の検疫をワンストップでスムーズに完了できるシステムを構築すること)について、宗像会長より概要の説明をいただき、協議の結果、本会として前向きに連携協力を進めていくことを承認した。

報告事項:

1. FASAVA(Federation of Asian Small Animal Veterinary

Associations)入会について報告

2. 執行役員会 12/12 1/23 2/28

3. 委員会報告

1) 認定医認定委員会 2/12

2) VN委員会 12/11 3/5

3) 養成講座委員会 1/17

4) CAPP委員会 12/16

5) 広報委員会 1/24

6) 年次大会実行委員会 12/19、3/7

7) WJVF委員会 12/6

8) 選挙管理委員会 2/26

9) 推薦委員会 3/6

4. JAHANA動物看護教育支援校ミーティング 1/10

5. 令和6年度正会員入退会者報告(令和6年4月~令和7年3月)

6. 会計報告

その他:今後のスケジュール

会議録

令和6年度 第2回広報委員会

日時:令和7年3月28日(金)13:00-14:00

方法:オンライン(zoom)

出席者(敬称略):

広報委員会委員長:大石太郎

広報委員:浅井亮太、舘澤仁

理事:会長 宗像俊太郎、専務理事 水野浩茂、吉田尚子

オブザーブ参加:株式会社HUMO 永瀬様

株式会社VETS TECH 小出様

協議内容:

1. 正会員 増加の具体策について

総務省・経済産業省からのお知らせ

総務省・経済産業省では、2025年6月に「経済構造実態調査」を実施いたします。
この調査は、国民経済計算(GDP統計)の精度向上等を目的とした、統計法に基づく広告義務のある調査です。
調査をお願いする企業・事業所や団体の皆さまには、調査書類を5月から順次郵送いたしますので、インターネットにて、ご回答をお願いいたします(郵送でご回答いただくこともできます。)
なお、今回の調査については、統計法第27条に基づく「事業所・企業照会」を同時一体的に実施いたします。対象となる場合は併せて
詳しくは、以下のURLから経済構造実態調査のホームページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>



JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

～過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中～ 動画配信専用コンテンツもあります

国際セミナー

『脳神経外科のスペシャリストに学ぶ神経疾患の診断と治療』

《第173回 国際セミナー》2024年8月に対面セミナーとして開催しました、『脳神経外科のスペシャリストに学ぶ神経疾患の診断と治療』を公開中です。

講師: Dr. R.Timothy Bentley
Purdue University College of Veterinary Medicine
Professor, Neurology and Neurosurgery
BVSc (Dist), MRCVS, ACVIM-Neurology

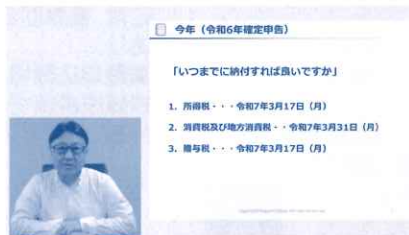


経営情報(税務)

第121回

「税金の納付」

講師: なごみグループ 税理士法人 和 (なごみ)
社員(創業者) 岡野 正治 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
セミナー開催が厳しい状況が続く今、
皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちらから(正会員病院の限定サービスです)
※アカウントをお持ちでない方は、
以下のリンクより「サービスのご案内」をご確認ください。
<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>



《事務局日誌／3月》

5日	水	新人を迎える準備セミナー(オンライン) 講師:磯部裕子先生 担当:伊藤、千葉
7日	金	第3回VN委員会
8～10日	土～月	年次大会実行委員会
11日	火	第177回国際セミナー「From Top to Bottom」～鼻から会陰まで～東京会場 講師:Dr. Heidi Phillips
12～14日	水～金	司会:増山東日本地区ディレクター、勝間東日本地区ディレクター 担当:加藤、千葉
12日	水	CAPPボランティア講習会(対面) 講師:槌矢智枝さん、風祭紀子さん 担当:山内
13日	木	第177回国際セミナー「From Top to Bottom」～鼻から会陰まで～大阪会場 講師:Dr. Heidi Phillips
18日	火	司会:小山田中部日本地区ディレクター、近藤中部日本地区ディレクター 担当:加藤
19日	水	こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコース第7回 講師:村田香織先生
24～26日	月～水	CAPP委員会
27日	木	ホスピタル委員会
28日	金	動物病院スタッフのためのシニアケア講座(第5回) 講師:島田旭緒先生、小松原大介先生、小野沢栄里先生
29～30日	土～日	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技1「成犬キャンプ」
		司会:羽金道代先生 担当:伊藤
		第10回執行役員会、第4回理事会
		第2回広報委員会
		麻布大学・Oneマルシェ

セミナー予定

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 実技2「子犬キャンプ」

講師: JAHA認定家庭犬しつけインストラクターによるチーム
日程: 5月14日(水)～5月16日(金)
会場: 広島県動物愛護センター

●JAHA×WAHA×Life&Tail共同開催「外科スキルアップラボ: 耳から気道までの実践的テクニック」

講師: 徳永 暁先生、末松 正弘先生
サポート講師: 小山田 和央先生
日程: 5月17日(土)、18日(日)
会場: 獣医療研修施設 WAHA Lab.

●「こねこ来い来いこねこ塾」(JAHA/JSFM共催セミナー)

日程: 5月25日(日)14:00～18:00
会場: 東京虎ノ門グローバルスクエア コンференス
プログラム: 「こねこの発達行動学ーこねこからねこへー」講師: 入交眞巳先生
「こねこ塾をはじめよう」講師: 村田香織先生
・愛玩動物看護師による『こねこクラス』

開催事例紹介: 誘い方と継続のコツ
対象: 動物病院スタッフの方(獣医師、愛玩動物看護師等)

参加形態: 1.会場参加(定員: 100名)、2.オンデマンド参加(後日配信)
参加費: 3,000円

共催: 公益社団法人 日本動物病院協会(JAHA)、ねこ医学会(JSFM)
お申込みはこちらから



●オンライン国際セミナー「血液透析を臨床に活かす!～獣医療における最新アプローチ～」

講師: 上田 悠先生(North Carolina State University)
形式: Zoomでのライブ配信
日程: 5月29日(木)、30日(金) 20:00～23:00

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 講義6「問題対処の基礎知識」オンライン

講師: 矢崎潤先生他
日程: 6月8日(日曜日)6月15日(日曜日)の2回に分けて配信
パート1 6月8日(日曜日)
14:00～17:00(3時間)

パート2 6月15日(日曜日)
14:00～17:00(3時間)

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「深堀シリーズ」『栄養学』科目

講師: 徳本 一義 先生
日程: 全3回いずれも13:00～15:00
第1回: 6月11日(水)
第2回: 6月18日(水)
第3回: 6月25日(水)
会場: Zoomでのライブ配信

●オンライン国際セミナー「動物の不整脈を“治す”時代へ: EPマッピングとアブレーションの実践と可能性」

講師: Dr. Romain Pariaut(Cornell University)
形式: Zoomでのライブ配信
日程: 7月19日(日) 20:00～23:00

●JAHA獣医師認定医を目指すための症例発表会(オンライン)

開催日: 7月23日(水) オンライン
演題募集要項:
獣医学関連のすべての分野の演題を受け付けます。

発表時間: 8分(質疑応答5分)
募集演題数: 8題程度(応募多数の場合には、複数回の実施または選考の可能性あり)

演題申込締切: 5月31日(土)
抄録原稿締切: 7月10日(木)
詳細・演題申込はこちら



●WJVF第16回大会

日程: 7月26日～27日
会場: ホテルニューオータニ大阪
※市民公開講座は27日のみ
主催: JBVP, JAHA

●JAHA獣医師認定医(内科・外科・総合臨床医)試験

日程: 8月24日(日)14:00～16:00
会場: 東京・エッサム神田ホール1号館(JR神田駅 徒歩2分)
大阪・新大阪丸ビル別館(新大阪駅東口 徒歩5分)
願書請求・申込受付: 6月1日～8月15日

●第178回国際セミナー「整形外科」

講師: Dr. Sun Young Kim(Purdue University)
日程:

東京会場: 9月3日(水)～5日(金)
大阪会場: 9月7日(日)～9日(火)

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「公衆衛生・感染症学」科目

講師: 生野 沙織 先生(日本獣医生命科学大学獣医学部 獣医保健看護学科 講師)
日程: 9月中開催(日程調整中)
形式: Zoomでのライブ配信(見返し配信アリ)

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「麻酔学」科目

講師: 風岡 匠 先生(コロラド州立大学米国麻酔疼痛管理科専門医レジデント)
日程: 10月中開催
形式: Zoomでのライブ配信(見返し配信アリ)

●JAHA年次大会2025

日程: 11月26日(水)、27日(木)
会場: AP東京八重洲(東京駅八重洲口 徒歩6分)

後援催事等

●介助犬フェスタ2025

開催日: 5月17日(土)10時～15時
会場: 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター
主催: 介助犬デモンストレーション/介助犬使用者インタビュー/公益的な活動紹介など

●インターペット大阪2025

開催日:
【大阪】6月13日(金)～15日(日)3日間
会場:
【大阪】インテックス大阪
主催: 一般社団法人ペットフード協会/一般社団法人日本ペット用品工業会/メッセフランクフルト ジャパン株式会社

会員数(令和7年3月31日現在)
合計8,520名

動物病院会員A	414病院	勤務獣医師会員	1,770名
動物病院会員B	232病院	勤務動物看護職員	4,808名
個人正会員	5名	学生会員	22名
名誉会員	2名	サポート会員	708名
個人獣医師会員	104名	施設賛助会員	167施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	81社
学術会員	147名		

JAHA年次大会2025

One Well-being 「対話」

－ すべての生命が響き合う、調和の未来へ －

2025年11月26日(水)・27日(木) 会場: AP東京八重洲